

# 平成28年度函館市地域包括支援センター事業評価 評価結果

## 函館市地域包括支援センター亀田

### 1. センターの概要(平成28年4月1日現在)

センター所在地	函館市昭和1丁目23番8号		担当圏域	北東部第2	
圏域の人口	36,275人	圏域の高齢者人口	9,658人	圏域の高齢化率	26.6%
職員数	保健師 2人, 社会福祉士 2人, 主任介護支援専門員 3人, その他 1人(配置基準職員 6人)				

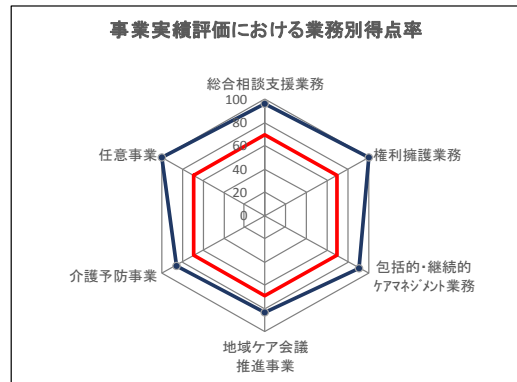
### 2. 事業内容評価(配置基準職員による自己評価に基づく評価)

センターの評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>新規開設センターであることから、地域住民や各団体、関係機関への周知から始める1年であった。前担当センターからの引継ぎもスムーズに行えた。専門職7人のうち、他センターでの経験者が2名おり、その他の職員についても前職の経験を活かし業務にあたることができた。</li> <li>担当圏域の町とのネットワークや社会資源との連携に課題が見えてきていることから、今後は関わりが薄い町や団体とのネットワーク構築を意識して取り組む必要があると考えている。</li> <li>また、個々の職員のスキルアップも早急な課題であり、様々な事業、業務や活動の実践を通して多くの経験を積んでいきたい。</li> </ul>

市の評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>新規開設センターではあったが、職員がそれぞれ前職の経験を活かして、十分なスキルを発揮していたと評価する。</li> <li>ミーティングについては、情報共有にとどまらず、今後はスキルアップも意識した内容に発展させていくことを期待する。</li> <li>各業務を担当する職種に偏りがみられるため、どの職種であってもバランスよく業務の経験ができ、チームアプローチが円滑にできるような体制づくりを行っていただきたい。</li> <li>市へ業務の相談をしたり、会議の場面でも積極的に発言するなど、センターの運営や業務についての知識や技術を積極的に習得しようとする姿勢があると評価する。</li> </ul>

### 3. 事業実績評価(実績に基づく量的評価)

評価	評価基準(得点率)
A	A 期待以上(87%以上)
	B ほぼ期待どおり(69%以上87%未満)
	C 改善を要する(50%以上69%未満)
	D 根本的な改善を要する(50%未満)



センターの評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>目標どおり実施できなかった事業もあったが、概ね計画は達成できた。</li> <li>総合相談支援業務について、目標としていたアウトリーチでの支援を全職員が意識し、相談者に対して丁寧に支援できたと評価する。また、総合相談支援業務は全ての事業や活動に直結するため、分析力や地域課題にも着眼した視点を持って関わることができるよう、個々の職員のスキルアップが重要であると考えている。</li> <li>経験の浅さから、業務の実施に時間がかかることも多いため、今後は効率性を高める必要があると感じている。</li> </ul>

市の評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>総合相談支援業務について、新規開設センターであったが、他のセンターと同等の相談件数であり、引継ぎや周知の効果があったと思われる。</li> <li>広報・啓発活動について、対象者の偏りがなく、様々な媒体を活用するなど、工夫して取り組んだことを評価する。高齢者虐待防止については、より効果的な広報・啓発ができるよう、パンフレット等の活用についても検討していただきたい。</li> <li>ケアマネジャーへの個別支援については、件数が他のセンターよりも大幅に多いが、支援の視点がぶれていなければ、このままの認識でよいと思われる。</li> </ul>

### 4. 運営体制評価

- 新規受託法人であるため、全職員の継続勤務年数が3年未満ではあったものの、3職種の基準を上回る配置など、センター事業を円滑に実施できる体制が確保されている。
- 現場の要望も踏まえ職員が働きやすい職場環境を整えるなど、適切な業務管理が行われている。
- 外部研修への参加の機会を確保するなど、教育・研修体制を整備している。
- 同一法人のサービス事業者の利用割合は20%未満であり、公正で中立性の高い運営を行っていると感じている。

### 5. 総評

センターにおいては、各分野全般にわたってバランス良く事業が実施できており、運営法人も職場環境を整えるなど、その実施体制の充実を図っている。

新規受託法人により開設したセンターであるが、前センターからの引継ぎや周知活動、個々の職員の積極的な取り組みにより、課題は少なくないものの、他センターと遜色なく事業を実施することができていると評価する。

今後は、さらに地域とのネットワークの拡充に努め、個々の職員のスキルアップを図っていただくことを期待する。